

お客様各位

ひまわり信用金庫

旧女性職員制服など不要となった衣類の再利用とポリオワクチンの寄付等について

ひまわり信用金庫(理事長 上條博英)は、SDGsの取り組みの一環として、昨年10月に創立100周年を記念して女性職員制服を一新したことに伴い不要となった旧制服とともに、役職員が持ち寄った家庭で不要となった衣類を、再利用と開発途上国の子どもたちへのポリオワクチン接種支援、雇用創出支援などに貢献したいとの思いから、「古着 de ワクチン」を運営する日本リユースシステム株式会社(以下「NRS」といいます。)へ提供し、「古着 de ワクチンプロジェクト」に参加しました。

今回の取り組みを通じて提供した旧女性職員制服など不要となった衣類は、150人分のポリオワクチンとなり、ミャンマーやラオスなど開発途上国に届けられ、子どもたちの生命救済の一助になるとともに資源の再利用、障がいのある方や現地でのストリートチルドレンなどの雇用創出などにもつながりました。

当金庫では、今後も積極的に社会貢献活動に取り組み、SDGsの達成に貢献してまいります。

記



旧女性職員制服など不要となった衣類を入れた「専用回収袋」



NRSから発行された「古着 de ワクチン」SDGs サポーター企業の認定書

【古着 de ワクチンまごころプロジェクトについて】

NRSが運営・提供するサービス「古着 de ワクチン」のパッケージプランで、「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会」(以下「JCV」といいます。)と共同企画で実施している事業です。

一口につき5名分のポリオワクチンがJCVを通じて開発途上国の子どもたちへ寄付されるほか、不要品として回収した衣類等をカンボジアを中心に輸出し、選別・販売、世界中に再輸出することで現地でのビジネスや雇用創出につながります。また、回収キットの製造や送付作業等を全国の福祉作業所で行うことにより障がいのある方の雇用支援にもつながります。



以上